

令和4年6月10日 第76回 山形県連合小学校研究協議会

第3回分科会【指導・育成】研究・研修

ミドルリーダー層の人材育成を目指した 継続可能な研修体制の構築

ONLINE

上山市立中川小学校 小関 英嗣

1 はじめに

カセ鳥



全国かかし祭り



檜下宿



上山城



ZAO LIZA ・ アスリートビレッジ (NTC)



・ 上山市は、人口約30,000人。山形県の中でも多くの観光スポットと豊富なフルーツで有名な都市。

・ 歌人「齋藤茂吉」(文化勲章受賞)

・ 全国的にも珍しいとされる温泉街と城下町宿場町の3つを兼ね備えた都市。



齋藤茂吉



1 はじめに

人口推移

上山市 28,997人(2022)

県35市町村 .. 18番目

13市 .. 11番目

令和4年度

上山市立小学校 ... 4校

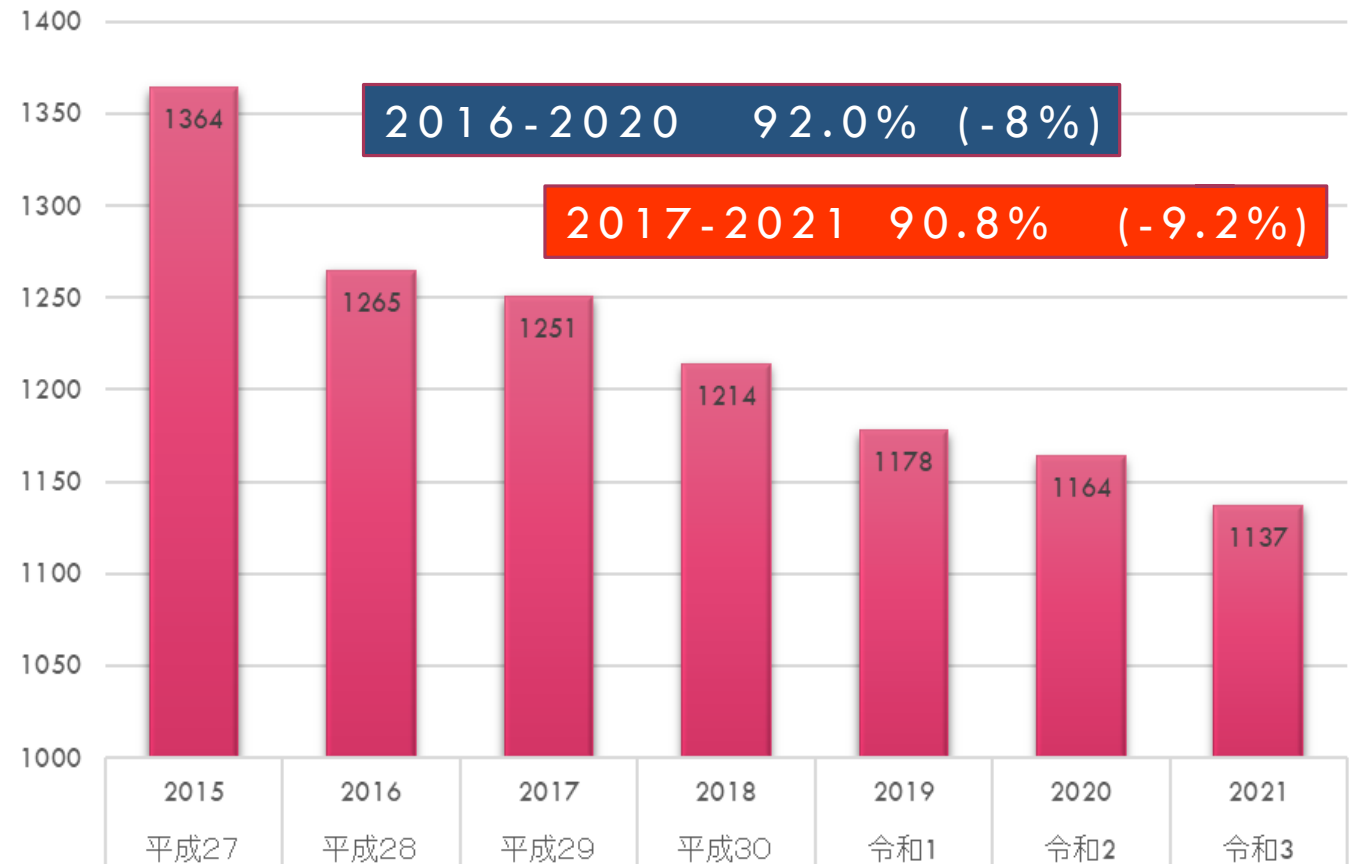
上山小・上山南小・宮川小・中川小

※令和4年度から西郷一小が南小に統合

上山市立中学校 ... 3校

上山南中・上山北中・宮川中

上山市内児童数の推移



1 はじめに

教職員の高齢化に伴う世代交代が進む中、次世代を担う人材の育成は喫緊の課題

上山市内小学校の状況は……

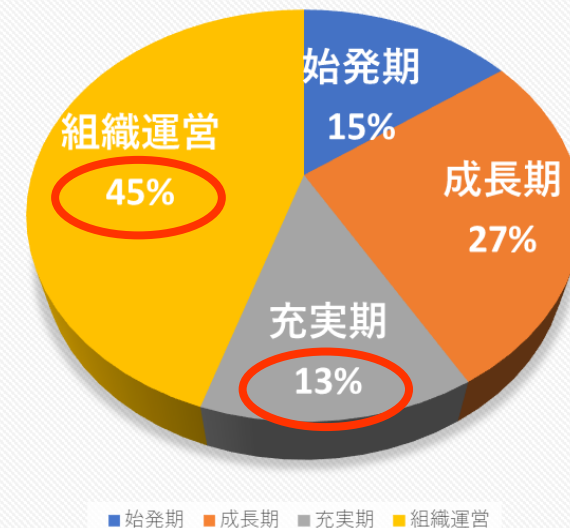
○経験年数により4つに分類(「指標」を参考)

○アンケート対象者 …… 上山市内小学校教諭

(管理職、養教、事務職員、技能技士を除く)

- ①始発期 …… 新採から3年目 概ね23歳～26歳前後
- ②成長期 …… 4年目から10年 概ね27歳～33歳前後
- ③充実期 …… 11年目から20年 概ね34歳～43歳前後
- ④組織運営期 …… 21年目以上 概ね44歳以上

教諭構成(%)



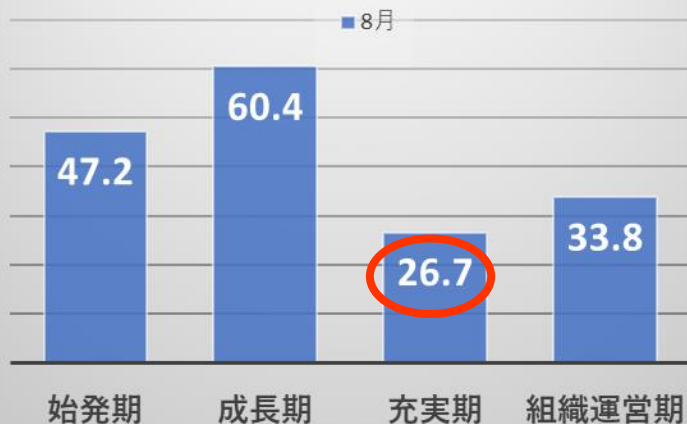
○次世代を担う「充実期」の層が薄く偏りが大きい

1 はじめに

【アンケートの結果】

ミドルリーダー層の「学校経営参画意識」や、良い組織作りに貢献する「チーム運営力」の意識が他年齢層に比べ著しく低い結果が判明

チームマネジメント力



【チームマネジメント力の能力】

・経営参画意識 ・チーム運営力 ・連絡調整力 ・後輩への指導助言力

○次世代を担う充実期とそれを補う成長期の人材育成が急務

校長会として、次世代を担うミドルリーダー層の人材育成のため本主題を設定し研究に取り組んだ

2 研究の概要について

(1) 研究のねらい

- ①次世代を引き継ぐミドルリーダー層の「学校経営参画意識」「チーム運営力」の向上
- ②校長会、市教委、各学校と連携した継続的な研修体制の構築

(2) 研究の方法

令和2年度(1年次)

- 研究の概要と方向性の協議
- 先進地区の情報収集

令和3年度(2年次)

- 事前アンケート実施と分析
- 校長会の取り組み
 - ・ミドルリーダー等、中堅等研修会7月・2月
 - ・学校経営研修会8月・9月、個別面接10月

- 教育委員会との連携事業
 - ・教育研究所

- 各学校の実態に応じたOJT
- 事後アンケートの実施と分析
- 成果と課題の吟味と次年度の検討

令和4年度(3年次)

- 研究のまとめと提言

【始発期】教職初任時～3年がめやす

【様式1】

キャリアアップ アンケートシート

所属	小学校	氏名	回答月日		
NO.	質問			/	/
1	悩みや困ったことが生じた場合には、管理職や同僚に相談することができる。				
2	日本及び外国の文化・歴史、環境問題、平和問題等についての広い知識を持っている。				
3	常に自らの学びを省察し、課題を発見し改善に努める事ができる。				
4	高い倫理性の下に、教育公務員として法令及び服務規定を遵守し、規範意識を持って職務に専念することができる。				
5	同僚と協働することの意義を理解し、問題解決に向けてチームで対応することができる。				
6	組織の一員として自己の役割を自覚し、学校の運営に貢献することができる。				
7	保護者や地域等との連携の必要性を理解し、円滑かつ迅速に対応することができる。				
8	互いの課題や悩みに気づき、支え合う環境を作ると共に、教職員を積極的に支援することができる。				
9	危険発生時の対処要領（危機管理マニュアル）に則り、児童生徒の安全を第一に考え、事件・事故、災害への的確な対応ができる。				
10	パソコンの使用規程などを遵守し、個人情報の保護等の安全管理に努めながら資料を作成したり活用したりすることができる。				

【アンケートの記入方法について】

- ①所属・氏名を記入して下さい。
- ②各項目に「おおむね当てはまる」場合は○を記入し、それ以外は「空欄」のままです。
- ③集計欄は記入しないで下さい。
- ④事前と事後の2回アンケートを実施します。

集計欄

【成長期】教職経験4年目～10年がめやす

【様式2】

キャリアアップ アンケートシート

所属	小学校	氏名	回答月日		
NO.	質問			/	/
1	互いに相談し合える雰囲気、率先して作ることができる。				
2	教職員間のコミュニケーションを活性化し、相互理解を促進することができる。				
3	仕事と生活の調和を図り、精神的なゆとりを持って仕事に取り組むことができる。				
4	地域の一員として地域活動等に参加する事を通じて、地域や他業種の方々の視点を理解し、多面的な考え方・見方ができる。				
5	管理職や同僚等の意見を謙虚に受け止め、自己を省察し、成長につなげることができる。				
6	組織の一員として自己の役割を自覚し、学校の運営に貢献することができる。				
7	保護者や地域等との連携の必要性を理解し、円滑かつ迅速に対応することができる。				
8	互いの課題や悩みに気づき、支え合う環境を作ると共に、経験の浅い教職員を積極的に支援することができる。				
9	危険発生時の対処要領（危機管理マニュアル）に則り、児童生徒の安全を第一に考え、事件・事故、災害への的確な対応ができる。				
10	パソコンの使用規程などを遵守し、個人情報の保護等の安全管理に努めながら資料を作成したり活用したりすることができる。				

【アンケートの記入方法について】

- ①所属・氏名を記入して下さい。
- ②各項目に「おおむね当てはまる」場合は○を記入し、それ以外は「空欄」のままです。
- ③集計欄は記入しないで下さい。
- ④事前と事後の2回アンケートを実施します。

集計欄

【充実期】教職経験 1 1 年目～2 0 年がめやす 【様式 3】

キャリアアップ アンケートシート

所属	小学校	氏名	回答月日		
NO.	質問			/	/
1	教師として自己改革の意欲を持ち続け、教育の動向等を踏まえつつ、たゆまぬ自己研鑽を行う事ができる。				
2	高い倫理性と厳正な服務規律のもと、自らの使命・任務を遂行し、同僚への助言も行うことができる。				
3	学校を取り巻く状況を把握・分析し、組織の課題を発見することができる。				
4	学校の共通理解の下、外部の専門機関と連携を図ることができる。				
5	互いの課題や悩みに気づき、支え合う環境を作ると共に、経験の浅い教職員を積極的に支援することができる。				
6	会議や研修が効率的に行われるように、参加者の意見や積極的な取り組みを引き出すことができる。				
7	同僚の特性や強みを見取り、それらを生かしたより良い組織作りに貢献することができる。				
8	同僚の教育実践の課題について、学び合う意識を持って助言することができる。				
9	安全教育の計画の策定に主体的に参画し、学校の安全に関する実践を推進することができる。				
10	ICT 技術の動向や実態を把握し、パソコンの使用規定を整備する等、安全管理を徹底することができる。				
				集計欄	

各ステージ10
の質問を作成

自分が概ね当ては
まる所に○を記入

事前・事後の○
の数で比較

【アンケートの記入方法について】

- ①所属・氏名を記入して下さい。
- ②各項目に「おおむね当てはまる」場合は○を記入し、それ以外は「空欄」のままで結構です。
- ③集計欄は記入しないで下さい。
- ④事前と事後の2回アンケートを実施します。

【組織運営期】教職経験 2 1 年目以上がめやす

【様式 4】

キャリアアップ アンケートシート

所属	小学校	氏名	月日と回答欄		
NO.	質問			/	/
1	高い倫理性と厳正な服務規律のもと、自らの使命・任務を遂行し、同僚への助言も行うことができる。				
2	柔軟な発想と企画力、的確な判断力を持ち、全体最適の視点から学校の職務を推進することができる。				
3	学校の運営について、機会を自ら作り出し、管理職に意見を具申することができる。				
4	組織運営や教科経営に積極的に関わり、学校の教育目標の実現に向けて工夫改善を行うことができる。				
5	組織全体について、内外の環境要因を見渡ししながら、その特徴をつかみ、強みを活かした教育活動を展開することができる。				
6	保護者、地域、関係機関等、様々な立場の人と協力し、広く情報を収集したり、適切に情報を発信したりすることができる。				
7	外部との調整の実務担当者として、学校の課題に応じて人的物的資源を活用することができる。				
8	外部専門機関等を含めた「チーム学校」づくりに参画することができる。				
9	自らの指導及び助言等を公開し、職員のロールモデルであることを自覚し、後進の育成にあたることができる。				
10	危険発生時の対処要領の作成に参画し、事件・事故、災害への的確な対応ができる。				
				集計欄	

【アンケートの記入方法について】

- ①所属・氏名を記入して下さい。
- ②各項目に「おおむね当てはまる」場合は○を記入し、それ以外は「空欄」のままで結構です。
- ③集計欄は記入しないで下さい。
- ④事前と事後の2回アンケートを実施します。

3 研究の内容

(3) 具体的な取り組み

① 校長会の実践

中堅教員等資質向上研修会 2022.2.10

新教育長による講話

対象者をミドルリーダー層に絞って実施

小中教諭24名参加(29名予定)

市内小中8校をつないでONLINEで
開催 ※感染拡大防止対策

The screenshot shows a Zoom meeting interface with a presentation slide titled "3 上山に学ぶ子供たちの教育を共に考える". The slide content includes:

- 3 上山に学ぶ子供たちの教育を共に考える
- <レジメ>
- ① 学力を高める
 - *児童生徒一人一人の可能性を切り拓く視点から
 - ◆指導の改善と評価のあり方
 - ・3つの■
- いそがしい (いそがしい) 実践プラン
 - ～「いそがしい」実践プラン～
 - 生きている喜びを実感し、いのちいっぱい生きぬく子ども
 - 「いのち」を大切にすることを目指す
 - 安心で信頼できる環境づくり
 - 「生き方」との出合いづくり
- まなび (まなび) 実践プラン
 - ～「まなび」実践プラン～
 - 主体的・協働的に学び続け、確かな学力を身に付ける子ども
 - 一人一人の確かな「まなび」づくり
 - 体験を生かした「まなび」づくり
- ふるさと (ふるさと) 実践プラン
 - ～「ふるさと」実践プラン～
 - 学校・家庭・地域を繋ぎ、ふるさとに誇りをもちつづける子ども
 - 上山の特色を生かした活動づくり
 - 地域の伝統・歴史等の学習を通じた誇りづくり
 - 学校・家庭・地域が一体となった教育活動づくり
- 家庭・地域と共に創る魅力ある学校経営
 - 子どもが行きたい、保護者が行かせたい、地域の人たちが支えたい魅力ある学校
 - 地域（自然・文化・伝統等）を生かした上山らしい特色ある学校経営
 - PISAモデルに基づく教育活動と「社会に開かれた教育課程・地域とともにある学校」づくり
 - 子どもの生きる力を育み、信頼され尊敬される教師
- 常に子どもと共にある教師 子どもに寄り添う教師
- 9年間を見据えた小中連携

令和4年度 上市市学校教育指導の方針

栄農教諭分 (市教委配属)

3 研究の内容

☆君たちはどう生きるか(気合いの自作)

01:08:53

制御を要求

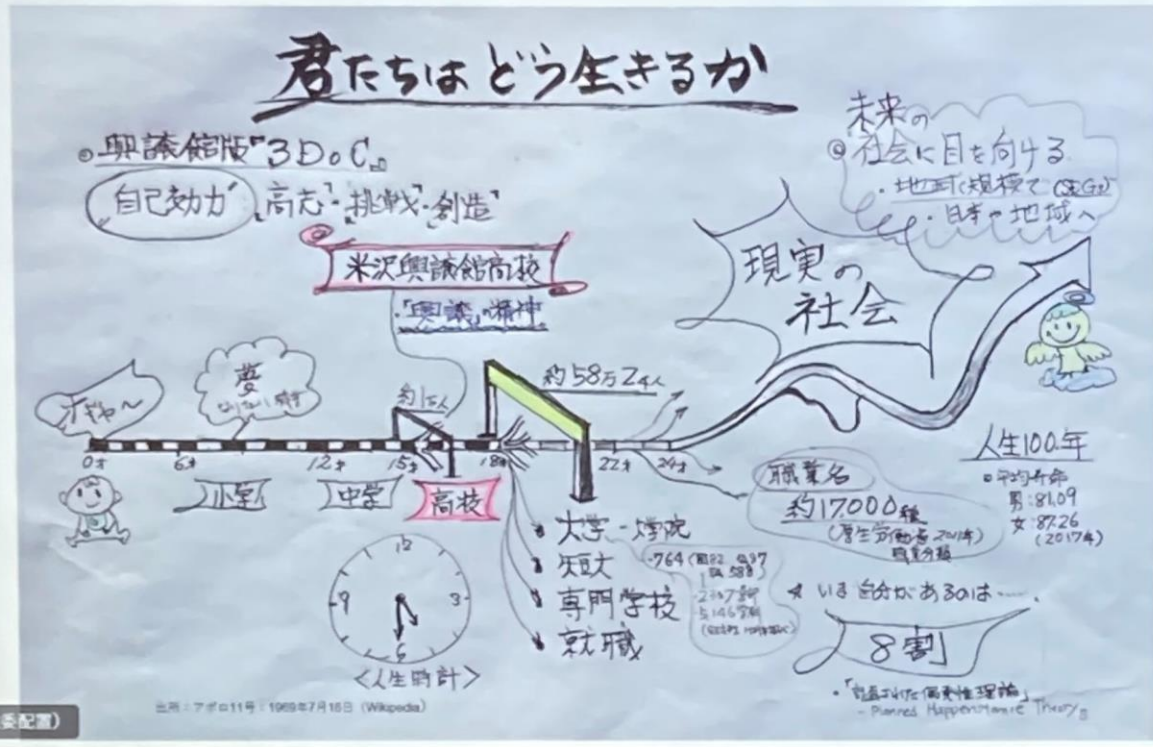
👤 🗨️ 🔄 ⋮

📹 🔇 📶

🔴 退出

■あなたはなぜ学ぶのですか？

2学期始業式 @



栄養教諭分(市教委配置)

出典: アゾロ11号 | 1969年7月16日 | Wikipedia

ここに入力して検索

🏠

🌐

📁

📧

📌

👤

🔍

🔌

🌡️ 0°C

📶

🔊

🔇

🔌

🔊

🔇

🔊

🔇

🔊

🔇

🔊

🔇

🔊

🔇

🔊

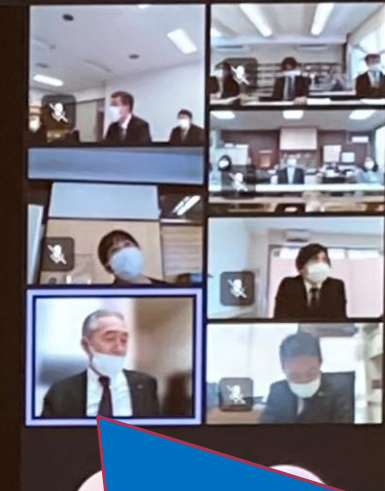
🔇

🔊

🔇

🔊

🔇



☆ミドルリーダーは校長が目指す学校づくりの“核:キーマン”である！



15:51
2022/02/10

中堅教員等資質向上研修会の感想 ※抜粋

【充実期・37歳男性】

自身が学校の核になること、なっていかなければならないことを強く感じました。学校としてどんな資質・能力を身につけさせるのかを職員全体で共通理解をする必要があると感じました。

【充実期・39歳男性】

自分の位置や役割を見極めて取り組んでいきたいと思います。

【充実期・42歳女性】

自分の立ち位置を理解した上で学校作りの「核」となれるように、今後研鑽を積んでいきたいと思います。

3 研究の内容

(3) 具体的な取り組み

② 市教委教育研究所委員会との連携

教育研究所「メディア教育」研究委員会

メディア教育研究委員会

○ねらい

- ① ICTを活用した実践例の収集・紹介
- ② 効果的なICT活用授業の研究と校内の普及
- ③ 全国研修会伝達講習

○委員・教諭、講師

- 小学校5名 (平均年齢30)
- 中学校3名 (平均年齢27)

各学校のOJT

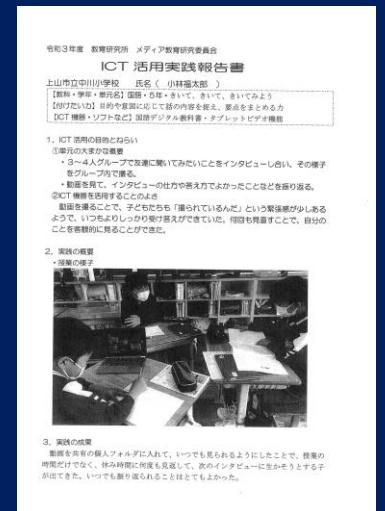
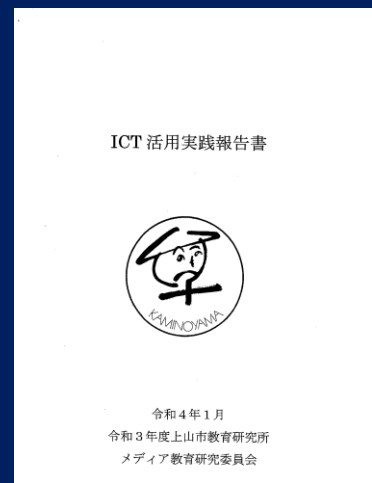
- 委員の研究・実践
- 伝達講習
- ICT活用方法の伝達・指導

【各学校のOJTに活用】

- ① 委員による校内ICT研修会の企画・実施
 - ◎ 全職員の前に立つ経験
- ② ICT活用技術をベテラン教員への指導
 - ◎ 指導される側からする側へ
 - ◎ win-winの関係

メディア教育研究委員会

- 実践事例のまとめ
- 活用実践報告所を編集し市内8校へ配布



(3) 具体的な取り組み

③各学校のOJTの取り組み例

◇職員打合せ5分間の活用
 ・職員室だよりで現場と教育法規の関連を指導

**◇教職員評価面談等における
 キャリアアップシートの活用**
 ・具体的な教師像の共有


個人情報の管理と懲戒処分について

中川小職員室だより

四季彩

2021. 5. 21
NO. 4

個人情報のプールで働く価値観の喪失に注意



これは山形市の教育関係トップの荒澤教育長が謝罪している場面です。これは業者が個人情報記載のアンケート分析結果のプリント7枚を紛失したための謝罪です。私達の働いている職員室は個人情報のプールです。児童の名簿、成績、疾病、家族構成、写真など、当たり前のように周囲に溢れており、それを活用して校務を遂行しています。

たった7枚のアンケート結果がこれだけの事態になるのですから、もっと機密性の高い情報を紛失したらいったいどうなることでしょうか。まして、勝手に持ち帰って紛失したら……

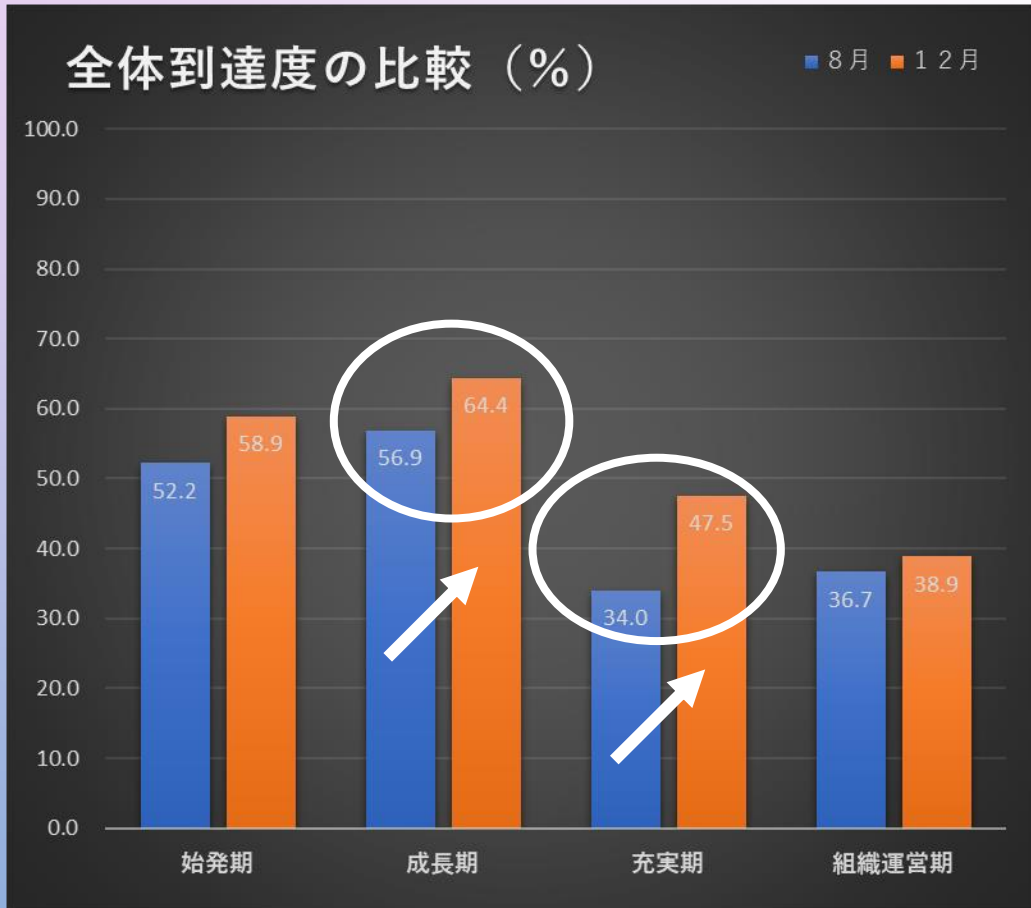
- 1 再利用の雑紙の裏に成績がびっしり
- 2 清掃時、パソコンを子どもがガン見
- 3 酒席の会話（壁に耳あり・・・）
- 4 出入り業者がいる前で個人情報をお喋り
- 5 車上荒らしてバッグごと盗難に

【山形県教育庁 懲戒処分の基準】・・・ 秘密漏洩、個人情報の基準の抜粋

秘密漏えい		ア 自己の不正な利益を図る目的で職務上知ることができた秘密を故意に漏らし、公務の運営に重大な支障を生じさせた職員	免職
		イ 職務上知ることができた秘密を故意に漏らし、公務の運営に重大な支障を生じさせた職員	免職又は停職
		ウ 具体的に命令され、又は注意喚起された情報セキュリティ対策を怠ったことにより、職務上の秘密が漏えいし、公務の運営に重大な支障を生じさせた職員	減給又は戒告
個人情報	目的外収集	その職権を濫用して、専らその職務の用以外の用に供する目的で個人の秘密に属する事項が記録された文書等を収集した職員	減給又は戒告
	紛失、盗難	重要な個人情報を持ち出して、紛失し、又は盗難にあった職員	減給、戒告又は文書訓告

4 成果と課題

(1) 全体到達度の変容



○全年齢層の全体到達度
事前 44.9%
事後 52.4%
+7.5% 向上

◇始発期 + 6.7%
◇成長期 + 7.5%
◇充実期 + 13.5%
◇組織運営期 + 2.2%

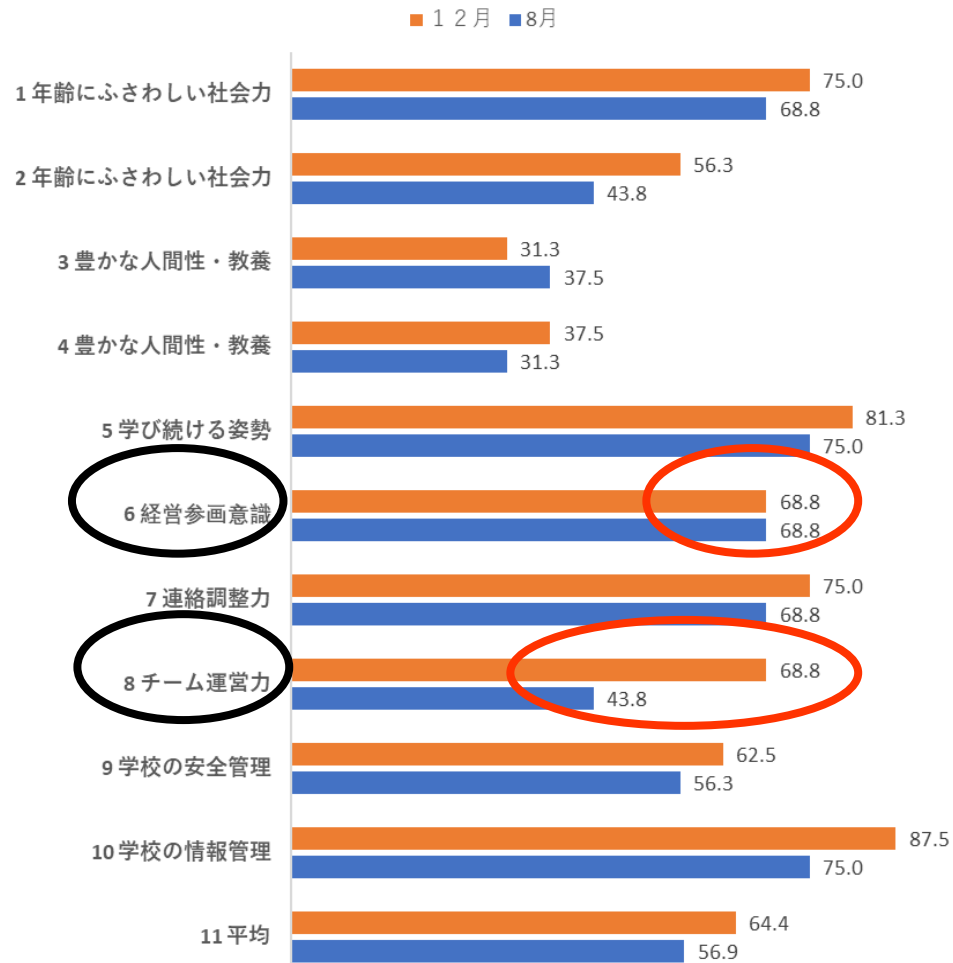
○成長期・充実期が他年齢層より向上

4 成果と課題

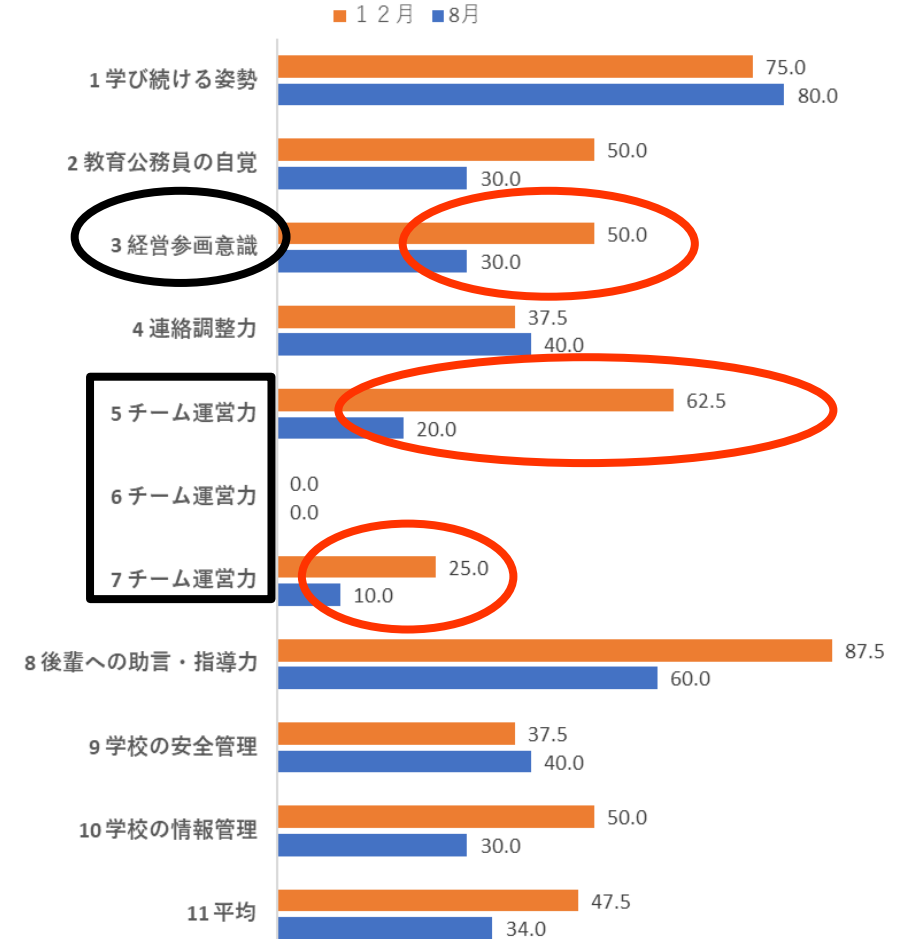
ステージ別能力の成果

(2)ステージ別能力集計の変容

成長期能力別集計 (%)



充実期能力別集計 (%)



4 成果と課題

ステージ別能力の成果

(2) ステージ別能力集計の変容

「学校経営参画意識」について

【成長期】

組織の一員として自己の役割を自覚し、学校の運営に貢献することができる。
(68.8 → 68.8 ±0)

【充実期】

学校を取り巻く状況を把握・分析し、組織の課題を発見することができる。
(30% → 50% +20)

4 成果と課題

ステージ別能力の成果

「チーム運営力」について

【成長期】

組織の一員として自己の役割を自覚し、学校の運営に貢献することができる。

(43.8 → 68.8 +25)

【充実期】

互いの課題や悩みに気づき、支え合う環境を作ると共に、経験の浅い教職員を積極的に支援することができる。(20% → 62.5% +42.5)

【充実期】

同僚の特性や強みを見取り、それらを生かしたより良い組織作りに貢献することができる。(10% → 25% +15)

4 成果と課題

成長期の課題

【成長期 豊かな人間性 ・ 教養】

精神的なゆとりを持って仕事に取り組むことができる。(37.6% → 31.3% -6.3)

【成長期 豊かな人間性 ・ 教養】

地域や他業種の方々の視点を理解し多面的な考え方・見方ができる。(31.2% → 37.5% +6.3)

充実期の課題

【充実期 連絡調整力】

外部の専門機関と連携を図ることができる。
(40% → 37.5% -2.5)

【充実期 学校の安全管理】

安全教育の計画の策定に主体的に参画し、学校の安全に関する実践を推進することができる。
(40% → 37.5% -2.5)

【充実期 チーム運営力】

会議や研修で、参加者の意見や積極的な取り組みを引き出すことができる。(0±0%)

4 成果と課題

○新教育長と校長会の課題を共有できた

○教職員評価面談等のキャリアアップシート活用により
お互いが、具体的な求める教師像を共有することができた

●教職員のプラス情報も活発に交換して育成を図る

5 提 言

継続可能な研修体制の構築に向けて

働き方改革の推進・新しい生活様式を踏まえた
効果的・効率的な研修・OJTの在り方が問われている

1 「対象者」や「ねらい」を焦点化し事業の精選を図る

2 校長会と教育長(教育委員会)が一貫した課題の共有

3 双方が有益な関係性を保つOJT(win-winの関係)